

島根原子力発電所 2号炉 審査資料	
資料番号	EP-061 改 92(回 1)
提出年月日	令和 3年 5月 24日

令和 3年 5月
中国電力株式会社

島根原子力発電所 2号炉 ヒアリングにおける確認事項に対する回答一覧表（技術的能力1.14：電源の確保に関する手順等）

No.	年月日	コメント内容	回答状況	回答内容
1	令和3年5月19日	GTG受電遮断器を設計変更し、SA-L/Cを自動受電することにより、これまで自動で電源供給されなかった範囲に影響を与えないことを説明すること。	本日回答	SA-L/Cを自動受電することにより、SA-L/C負荷に対しても自動で電源供給されるが、この時に電源供給される負荷は、SA-C/Cの警報電源及び制御盤であるため、大型補機が自動起動するようなことはなく自動受電に問題はない。 また、低圧母線の自動受電は、非常用DGの起動に関する電源供給の設計思想とも整合するため運用面からも問題はない。 (資料EP-061 改92(説9)「島根 2号炉の代替交流電源設備による非常用所内電気設備と代替所内電気設備の考え方について」 3ページ参照)
2	令和3年5月19日	重大事故等の対応手順選択フローチャートについて、優先順位の記載等再度整理して説明すること。	本日回答	重大事故等の対応手順選択フローチャートについて、SA-L/C及びSA-C/C受電の記載が適切でなかったため、優先順位も考慮しフローチャートを変更する。 (資料EP-061 改92(説9)「島根 2号炉の代替交流電源設備による非常用所内電気設備と代替所内電気設備の考え方について」 4ページ参照)